

# 「中国・アジア」ダイジェスト

2013.10.14-10.25

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

10月14日（月）

9月の新車販売19.7%増  
193万5800台 / 景気回復を反映  
中国の9月の新車販売台数は前年同月比19.7%増の193万5800台となった。8月は同10.3%増だった。9月の増加は中国の景気回復を反映の一方、領土問題で販売が低迷のかさ上げ。（時事＝5面）

コマツ、デミング賞を受賞  
山東省の子会社  
コマツは、山東省の子会社「小松山推建機」が、日本科学技術連盟から2013年度のデミング賞を受賞した。TQMの最も優れた企業に与えられる賞で、中国の企業としては2社目。（7面）

バス優先制御システム共同開発  
住友電工 / 上海・同済大学  
住友電気工業は、上海の同済大学と、バスの円滑走行を支援する「バス優先制御システム」を共同開発する。バス接近を無線装置で検知、交差点を通過しやすいよう信号機をコントロール。（8面）

大和ハウス、中国で現地生産  
住宅用部材 / 年産140 200棟  
大和ハウス工業は、中国合併が、住宅用部材の生産を始めた。軽量鉄骨の柱、梁、トラス、外壁・屋根パネルをモデルルーム用や現地のリゾート分譲地向けに供給。年産能力は140 200棟。（12面）

10月16日（水）  
中国でパーティション販売  
三菱樹脂 / 日系向け  
三菱樹脂は、オフィス間仕切り（パーティション）を中国で販売する。鉄骨に石こうボード工法よりも工期が短くてレイアウトを変更しやすい。まず日系企業のオフィスや工場向け。（13面）

10月17日（木）  
高純度アルミ箔を量産  
昭和電工 / 月産400ト  
昭和電工は、中国で電解コンデンサーの主要材料となる高純度アルミ箔の量産を始める。現地法人の工場が完成。堺事業所から供給される中間製品を最終加工。加工能力は月産400ト。（11面）



左から松浦康夫伊藤忠丸紅鉄鋼社長、三善俊典日新製鋼社長、ワージントンのマーク・ラッセル社長

日新製鋼、シェア40%狙う  
中国の特殊鋼圧延合併  
日新製鋼は、中国の特殊鋼圧延合併（2015年稼働）について、2024年に売上高200億円、経常利益18億円を目指す。現地に進出する日系・欧米の自動車部品メーカー向けシェアで40%を狙う。（3面）

新興市場で農業登録業務  
日本農業 / 中国・ブラジル  
日本農業は、新興市場で農業登録業務の現地化を進める。世界最大の農業市場であるブラジルで登録業務が本格化したほか、中国でも1 2年後に登録業務を始める。（11面）

10月18日（金）  
工作機械、中国で増産体制  
DMG森精機、天津工場を新増設  
日本の大手工作機械メーカーが、相次ぎ中国で生産拠点を新増設している。D

日本の大手工作機械メーカーの中国生産動向	
DMG森精機	天津工場が9月に稼働。提携する独企業の上海工場と合わせ2拠点体制に
ヤマザキマザック	中国2拠点目の遼寧工場が3月に稼働。当面は全量を日本に出荷
オークマ	北京市の合併会社で年内をめどに生産能力を増強

MG森精機は天津工場を建設し、横型MCなどを現地生産。オークマも北京の合併で横型MCなどの増産体制。（1面）

神鋼、中国で自動車用ハイテン  
年産60万ト / 289億円投資  
神戸製鋼所は、中国で自動車用冷延高張力鋼板を2016年初頭から生産する。中国鉄鋼大手の鞍山鋼鉄集団と合併会社を設立する。生産能力は年60万ト。総投資額は約289億円。（3面）

三菱電機が電力設備会社  
発電 / 送変電 / スマグリ  
三菱電機は、中国に電力設備の販売・サービス会社を設立する。発電や送変電、スマートグリッド関連の需要を取り込むため電力専門の営業やエンジニアリング部隊が必要と判断した。（3面）

ホンダ、500ccスポーツ投入  
上海・北京 / 大型2輪車の販売店  
ホンダは、中国で大型2輪車の販売を本格的に始める。今後レジャーで大型2輪車が伸びると見る。500ccのスポーツ

モデル「CBR500R」を投入する。上海と北京に大型2輪車の販売店。（5面）

日立建機、6カ月連続増加  
9月28%増 / ミニ・小型機が堅調  
日立建機の、9月の中国販売は前年同月比28%増と6カ月連続でプラスとなった。ミニショベルや小型機が堅調だが、鉱山開発向け大型機の低迷が続く。日系はここ数カ月2ケタの伸び。（6面）

電気化学が食品包装材生産  
年産2000ト / 2014年末開始  
電気化学工業は、江蘇省蘇州市にある連結子会社の電化精細材料（蘇州）で、食品包材用シートを生産を2014年末に始める。投資額は10億 20億円で、年産能力は2000ト。（11面）

漢方薬原料、栽培を後押し  
農水省 / 中国集中リスクを正  
農林水産省は、2014年度からの新規事業として、農家による漢方薬原料となる薬用作物の栽培を支援する。品種選定や栽培マニュアルを作成。中国に8割以上依存、一国集中リスクを是正。（13面）

10月21日（月）  
DMG森精機、中国1.6倍に  
工作機械 / 2016年度200億円  
DMG森精機は、天津工場の稼働に伴い、2016年度に中国での工作機械の年間売上高で約1.6倍の200億円を目指す。天津工場は年600台へ。売上高の半分を同工場の工作機械とする。（9面）



開式に参加した森雅彦社長（右端）

アウトソーシング総合拠点  
トランスコスモス / 蘇州に設立  
トランスコスモスは、蘇州に新拠点「トランスコスモスアウトソーシングセンター蘇州」を設立した。蘇州にある2子会社を移転し、アウトソーシングを総合的に展開する拠点とする。（11面）

自動車用ガラス製造工場に転換  
旭硝子 / 年120万台分  
旭硝子は、蘇州の旭硝子特種玻璃で稼働している太陽電池用カバーガラスの製

自動車関連製品や日用品を中心に在庫保管、流通加工、国内配送など。（15面）

10月23日（水）  
低炭素都市、アジアで推進  
情報を共有 / 環境省など  
環境省と地球環境戦略研究機関は、横浜で「アジアにおける低炭素都市形成セミナー」を開いた。アジア5都市のパネル討論会を実施。低炭素化の課題や支援枠組みなどをした。（2面）

帝人フロンティア、タイで増産  
車ホース用補強材 / 15%  
帝人フロンティアは、タイで自動車や自動2輪車のホース用補強材を増産する。子会社のティジン・コード・タイランドに専用ラインを増設する。生産量は約15%増となる。（11面）

ベトナムでバイク保険  
伊藤忠 / ホンダ車、年30万件  
伊藤忠商事は、ベトナムでのバイク保険サービス事業を拡充する。現地の大手銀行3行と提携し、クレジットカードに付帯する保険サービスとして提供。ホンダ車対象。年間30万件を目指す。（13面）

10月24日（木）  
民間航空機、北東ア新造28兆円  
乗客年3%増 / ボーイング予測  
米ボーイングは、今後20年間で北東アジア（日本、韓国、台湾）の新造民間航空機需要が1360機、2800億ドル（約28兆円）に達するとの見通し。航空機乗客数が年率3%増加する。（5面）

インドネシアで刻印を生産  
浦谷商事 / 新工場を建設  
浦谷商事は、インドネシアで刻印の生産を始めた。日系メーカーの進出が活発な同国で、文字や日付を製品や部材に打ち込む刻印など有望市場になると判断、新工場の建設を決めた。（7面）

住商、マンガン系合金鉄を製販  
マレーシア / 年16万9000ト  
住友商事は、マレーシアでマンガン系合金鉄の製造販売事業に参画した。サラワク州にマンガン系合金鉄の製造工場を建設。生産能力は年間16万9000トで、主にアジア向けに販売する。（13面）

帝人、アラミド繊維工場  
タイに現法設立  
帝人は、タイ・パトゥムタニ県に現地法人「ティジン・コーポレーション（タイランド）」を設立した。新会社はティジンの敷地内に新規メタ系アラミド繊維の生産工場を新設する計画。（13面）

## ASIA

10月14日（月）

マレーシアにエンジン工場  
ダイハツ / 現地調達率を向上  
ダイハツ工業は、マレーシアで建設中の車両工場にエンジン組立工場棟を追加投資する。新工場は2014年に稼働で、低燃費・低価格が特徴の小型乗用車を製造する。現地調達率を向上。（1面）

インドネシアで車部品用金型  
エイチワン / 合併設立  
エイチワンは、虹技と現地企業の3社で車部品用金型を製造販売する合併会社をインドネシアに11月設立する。鋳造素材から金型製作まで一貫して行う。現地企業の既存工場に設置。（5面）

フィリピンに時計部品工場  
中山製作所 / リスク分散  
中山製作所は、フィリピンに時計部品工場を新設する。工業団地の既存工場を賃貸で確保する。中国偏重の生産体制を見直してリスクを分散。顧客の生産拠点が東南アジアにシフト。（7面）

10月16日（水）  
日本郵船、インドネシア合併  
完成車を陸送  
日本郵船は、インドネシアに自動車の陸送会社を設立し、完成車の輸送事業を年内にも始める。陸送のほか、車両にアクセサリーなどを取り付ける車両前整備（PDI）も手がける。（1面）

インド製鋳造品を販売  
宮川工業 / 日本・東南ア  
宮川工業は、インド子会社を通じて、日本や東南アジアでインド現地メーカー製鋳造品の販売を始めた。工作機械用多軸アタッチメント製造などの既存事業に加え、事業領域を広げる。（6面）

ベトナム薄板合併、来月稼働  
新日鉄住金 / 年120万ト  
新日鉄住金は、台湾の中国鋼鉄とベトナムで建設中だった薄板製品の製造・販売を手がける合併会社「CSVC」の営業運転を11月に始める。溶融亜鉛メッキ鋼板など年産能力120万ト。（13面）

アジアの低炭素化事業を支援  
環境省 / 基盤整備  
環境省は、企業や自治体向けにアジア地域での低炭素化事業を推進するための

プラットフォーム（基盤）を立ち上げる。現地での事業に必要な情報を提供するポータルサイトを開設。（13面）

ミャンマー進出、計画に遅れ  
日通 / 郵船ロジ  
日本通運と郵船ロジスティクスが計画するミャンマーやカンボジアへの拠点開設に遅れが出ている。日通は両国の制度変更など。郵船ロジはミャンマーで国内産業を保護する動き。（14面）

10月17日（木）  
アサヒが飲料水合併  
インドネシア / 製造と販売  
アサヒグループHDは、インドネシアの大手食品会社インドフードCBPとの合併会社を通じて、現地飲料会社PTマルチババギアと容器入り飲料水の製造と販売の合併2社を設立する。（3面）

ベトナムに金型の設計子会社  
名古屋精密金型  
名古屋精密金型は、ベトナム・ビンフック省に樹脂用金型の設計子会社を設立する。日本で研修を受けたベトナム人10人でスタート。自社向けのほか金型や成形関連メーカーなど開拓。（7面）

アジアの都市発展で連携  
横浜市・アジア開発銀行  
横浜市は、アジアの都市発展と市内企業の海外展開を目的に、アジア開発銀行と連携する。横浜市や民間企業が有している環境に優しい都市づくりのノウハウを提供する。（31面）

10月18日（金）  
リコー、インドにDC増設  
旧工場を転用 / 3カ所目  
リコーは、インドにデータセンターを増設する。西部グジャラート州の旧工場を一部改修し、2014年春に稼働。既存のDC事業がフル稼働のため増設を決めた。同国のDCは3カ所目。（9面）

インドネシアで高速鉄道  
東急建設・大林組・清水建設 / 325億円  
東急建設、大林組、清水建設の3社は日本政府の円借款で建設されるインドネシアのジャカルタ都市高速鉄道第1期工事の高架区間を現地企業と共同企業体を組み、総額約325億円を受注。（12面）

10月21日（月）  
富士電機、インドネシア実証  
工業団地向けスマートグリッド  
富士電機は、新興国の工業団地向けスマートグリッドを開発する。工場エネ管

理、コジェネ運用最適化、高品質な電力を生産設備に直接供給システムをインドネシアの工業団地で同時に実証。（1面）

三菱重工、マレーシアでITS  
現地ETC、精度悪く  
三菱重工工業は、マレーシアの高度道路交通システム（ITS）関連企業2社と、ITS事業で協業する。現地のETCシステムは、精度が悪く誤認識があり、渋滞の原因になっている。（7面）



インドネシア車販売48%増  
9月11万5921台  
インドネシアの9月の自動車販売台数は確定値で前月比48.7%増の11万5921台だった。1 9月の累計は前年同期比11.3%増の90万8279台。自動車協会(Gaikindo)の会員集計。（時事＝7面）

10月22日（火）  
三井物産、エビ加工に参画  
ベトナムMPHGに出資 / 年4万トに  
三井物産は、ベトナムでエビの加工事業に参画する。現地のエビ加工製造・販売会社MPHGに約31%出資する。年間1万トを製造。その内約25%を日本に輸出。2018年度3万4万トに。（3面）

GM、SUVインド生産再開  
「タベラ」 / 当局の承認  
米ゼネラル・モーターズのインド法人は、当局の承認を経てSUV「タベラ」の現地生産を再開した。排気基準などの問題で計11万4000台をリコールし生産・販売を停止していた。（時事＝5面）

小野薬品、ソウルに販売子会社  
抗がん剤など / 自社販売も視野  
小野薬品工業は、韓国ソウル市に100%出資の販売子会社を12月に設立する。製品導出先への既存品の販売支援に加え、将来は抗がん剤など一部の専門的な製品の自社販売を視野に。（12面）

郵船ロジ、インドネシア新倉庫  
車関連・日用品 / 在庫保管など  
郵船ロジスティクスは、インドネシア・ジャカルタ近郊のジェバベカ工業団地に倉庫を開設する。約1万6700平方フィ

造設備を順次停止し、この資産を活用して自動車用ガラス製造工場に事業転換する。年約120万台分。（12面）

10月22日（火）  
ホンダ、2輪車の新工場着工  
広州 / 年産150万台に  
ホンダは、広州市で2輪車の新工場を着工した。新工場は現工場と同じ敷地内に建設し、2014年末に生産を開始。年産能力は50万台。現工場の100万台と合わせて年産150万台を目指す。（5面）

富士電機、上海で合併  
高圧インバーター移管  
富士電機は、中国・上海電気集団と高圧インバーターの合併会社を設立する。無錫の自社工場で生産してきたが、販路やブランド力に課題があった。上海電気が販売で主導権。（9面）

10月23日（水）  
トヨタ、四川で増産  
SUV拡充 / 年5万台  
トヨタ自動車は、四川一汽トヨタ自動車成都工場で生産するスポーツ多目的車（SUV）のラインアップを2015年3月に拡大する。生産能力も年間2万台分増強し、同5万台とする。（5面）

高性能アルミ合金、中国で生産  
日軽MCアルミ / 独・日本車向け  
日軽エムシーアルミは、中国拠点の日軽商菱鋁業が独ラインフェルデンアロイスから高性能アルミニウム合金の生産ライセンスを取得した。ドイツ車や日本車向けに拡販する。（11面）

10月24日（木）  
ダイキン、日本に生産回帰  
家庭用エアコン年25万台  
ダイキン工業は、中国・珠海格力電器に委託している日本国内向け家庭用エアコンの一部生産を滋賀県の自社工場に戻す。ポリウムゾーン機種を年80万台委託。このうち同25万台分移管。（1面）

日韓FTA、2015年妥結へ  
「RCEP」より前一致  
日本、中国、韓国は、ソウルでFTA締結交渉の第3回会合に向けた準備会合を行った。2015年の妥結を目標としている「RCEP」より前を目指すとの認識で一致した。（時事＝2面）

中小の中国事業、改善の兆し  
今後1年...43% / 商工中金調べ  
中国で事業展開する中小企業の収支に

10月25日（金）  
ベトナム製油所で起工式  
出光興産 / 2016年完成  
出光興産は、ベトナムの製油所建設プロジェクトの起工式を開催した。タインホア省ニソン経済区の建設現場に約1000人が出席。建設は7月に始まっており、2016年の完成を目指している。（3面）



ベトナムの製油所建設プロジェクトの起工式（出光興産）

トヨタ紡織、インドに営業合併  
内装部品 / トヨタ以外に  
トヨタ紡織は、インドにトヨタ自動車以外向けにシートなど内装部品の営業する合併会社を11月に設立する。合併相手はインドシェアトップのスズキが現地で調達するシートの半数を供給。（5面）

インドネシア製 マレーシアに  
日立建機 / 油圧ショベル  
日立建機は、インドネシアで生産した林業仕様の中型油圧ショベルをマレーシアに輸出する。日本から標準機を輸出し、現地のユーザーが林業仕様に改造していた。低コスト化を実現。（6面）



インドネシア工場で生産する林業向け油圧ショベル（日立建機）

スカパー、インドネシア進出  
アニメ・ドラマ / 専門チャンネル  
スカパーJSA Tは、インドネシアで日本の番組を放送するサービスに乗り出す。現地の有料放送事業者最大手と連携し専門チャンネルを立ち上げる。日本のアニメやドラマなどを放送。（11面）

ソウルに日本酒専門店  
全国9酒蔵38種類 / ウィンウィン  
ウィンウィンは、韓国ソウル市に日本酒専門店「SAKAGURA」を開業。

改善の兆しが現れ始めていることが商工中金の調査から明らかになった。今後1年間の見通しについては「改善」を見込む企業割合が43%に上った。（2面）

10月25日（金）  
明治、粉ミルク販売休止  
輸入禁止が長期化  
明治ホールディングス傘下で食品事業を担当する明治は、中国での粉ミルク販売を一時休止する。口蹄疫や原発事故で日本産粉ミルクの輸入禁止措置が長期化。収益が悪化していた。（3面）

KDDI、6カ所目のDC  
7万5000㎡ / 外資系で最大級  
KDDIは、中国で6カ所目となるDCを上海市に開設、11月1日にサービスを始める。総床面積は約5800平方メートル。現地DCは合計約7万5000平方メートルに拡大する。外資系で最大級。（11面）

TELOP  
SBI、オンライン金融事業展開  
中国2企業と提携（17日17面）  
トヨタ紡織、新工場が稼働  
シートカバー年23万台分（22日5面）  
事務機器精密部品の生産拠点再編  
ブリヂストン（22日5面）  
商品取引所の倉庫禁止を継続へ  
中国政府筋（25日19面）

ひと  
オフセット印刷機、中国に  
「印刷機の輸出は7割で、中国やASEANに期待している」と、小森コーポレーション取締役常務執行役員の斎藤一徳さん。オフセット枚葉印刷機を初めて中国に納入する。労働賃金が上昇する中で「自動化や物流改善の要求が高まっており潜在ニーズは高い」。（14日＝7面）

アベノミクスはすごい  
「アベノミクスはすごいと感じている」と、しまむら社長の野中正人さん。誰も景気回復を疑っていないと評価する。しかし、3 8月期はアベノミクスで「ひどい目にあった」という。中国などから製品を輸入することが多く、急激な円安の直撃を受けたからだ。（14日＝13面）

磯蔵酒造が出店に協力した。全国9酒蔵の38種類、容量720ミリリットルで4000円前後の商品をそろえる。（14面）



「SAKAGURA」

TELOP  
ベトナム新車販売24%増  
9月 / 9785台（時事＝14日5面）  
ベトナムで揚水発電所コンサル  
Jパワー（14日12面）  
アジア・メキシコ高速海上輸送  
米UPS（14日13面）  
ボルネオ島の熱帯雨林保護  
NTTデータ経営研（17日11面）  
マレーシアで珪砂採掘精製  
豊田通商、年100万ト（16日13面）

インドネシア製薬会社と提携  
ナリシ化粧品（16日14面）  
リヒトラブ、ベトナムに物流倉庫  
日本向け文具（16日15面）  
新興アジア金融機関に投資  
SBI（16日19面）

インドネシア投資調整庁と提携  
城南信金 / 進出手続き短縮（16日19面）  
マレーシア企業に20%出資  
豊田通商 / シリカサンド採掘（17日15面）  
政府、WTOで撤廃要請  
韓国の水産物輸入規制（時事＝18日2面）  
ベトナムETT企業と合併  
アグレックス（18日9面）

インド新国際空港の事業化調査  
豊田通商 / 建設・運営（18日12面）  
ベトナムで無担保ローン  
ジャックス（22日17面）

ひと  
エコタイヤ苦戦  
「東南アジアでは各社がエコタイヤの販売に苦戦している」とは東洋ゴム工業取締役常務執行役員の山本卓司さん。現地では低燃費を実現する高性能タイヤよりも、低価格品ニーズが強い。エコノミーとエコロジーを両立させたタイヤを投入するのが「次の課題」。（25日＝5面）